

ローム (コード 6963)

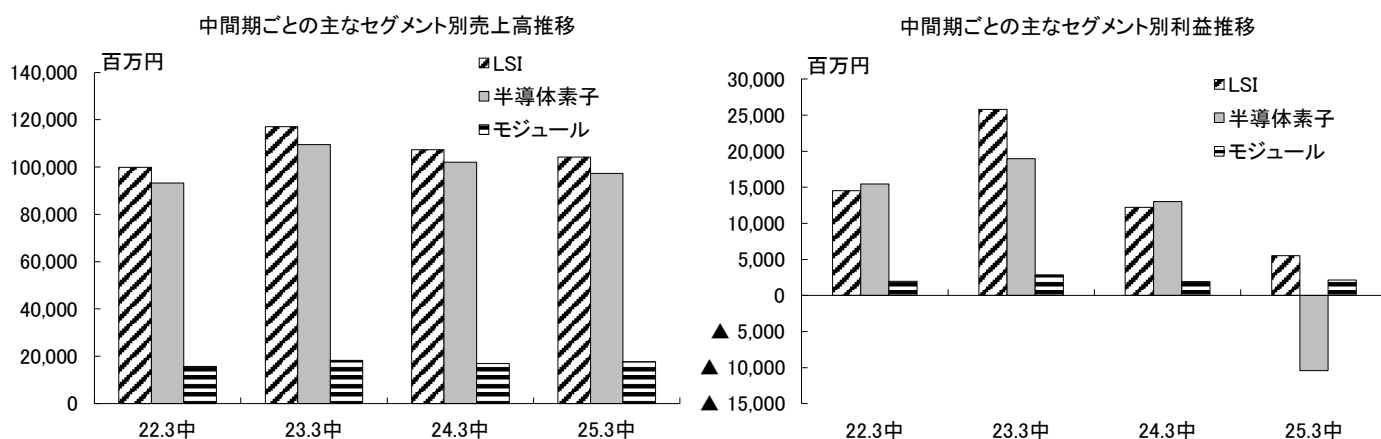
◆各決算期の中間期業績推移(連結) (株式分割を考慮)

| 決算期 | 売上高 | 営業利益 | 1株純利益 | 1株配 | 営業CF | 投資CF | 財務CF | 現金及び現金同等物 |
|------|---------|--------|-------|------|--------|----------|---------|-----------|
| 22.3 | 222,657 | 34,513 | 78.5 | 18.8 | 46,492 | ▲26,241 | ▲8,192 | 273,225 |
| 23.3 | 259,912 | 50,403 | 132.8 | 25.0 | 51,945 | ▲58,245 | ▲11,624 | 293,187 |
| 24.3 | 239,319 | 29,833 | 95.4 | 25.0 | 42,901 | ▲350,903 | 275,395 | 276,376 |
| 25.3 | 232,022 | ▲974 | 5.4 | 25.0 | 54,098 | ▲66,448 | 89,415 | 298,653 |

◆通期業績推移(連結) (株式分割を考慮。25.3 予は会社側発表値)

| 決算期 | 売上高 | 営業利益 | 1株純利益 | 1株配 | 営業CF | 投資CF | 財務CF | 現金及び現金同等物 |
|-------|---------|---------|-------|------|--------|----------|---------|-----------|
| 22.3 | 452,124 | 71,479 | 170.2 | 46.3 | 92,181 | ▲55,437 | ▲16,230 | 295,223 |
| 23.3 | 507,882 | 92,316 | 204.7 | 50.0 | 98,628 | ▲88,738 | ▲22,153 | 294,254 |
| 24.3 | 467,780 | 43,327 | 138.8 | 50.0 | 82,858 | ▲431,952 | 265,063 | 228,104 |
| 25.3予 | 450,000 | ▲15,000 | ▲15.6 | 50.0 | — | — | — | — |

(CF=キャッシュ・フロー。現金及び現金同等物は各期末値。▲はマイナス。単位は百万円、円)

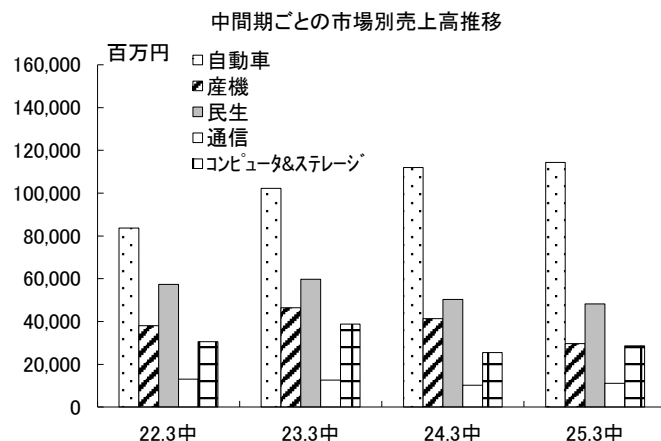


25年3月期の中間期業績概況…25年3月期の中間期(24年4~9月)は、自動車向けおよびコンピュータ&ストレージ向けが堅調に推移した一方、産機(産業機器)向けおよび民生機器向けが軟調に推移し、売上高は前年同期に比べて3%減り、営業損益は赤字となった。

当期の業績は、売上高 2,320 億 2,200 万円(前年同期比 3.0%減)、営業損失 9 億 7,400 万円(前年同期は 298 億 3,300 万円の黒字)、経常損失 1 億 2,900 万円(同 500 億 9,800 万円の黒字)、親会社株主に帰属する四半期純利益 20 億 6,800 万円(前年同期比 94.5%減)となった。なお、営業外費用において為替差損約 62 億円(前年同期は営業外収益において為替差益約 107 億円)を、特別利益において投資有価証券売却益約 63 億円をそれぞれ計上している。

セグメント別の売上高は、LSI1,042 億 3,000 万円(前年同期比 2.9%減)、半導体素子 972 億 6,300 万円(同 4.7%減)、モジュール 177 億 3,400 万円(同 4.8%増)など。セグメント別利益は、LSI55 億 3,100 万円(同 54.8%減)、半導体素子 104 億 1,700 万円の損失(前年同期は 130 億 800 万円の黒字)、モジュール 21 億 4,800 万円(前年同期比 11.0%増)などとなった。また、市場別売上高(同社推定)は、自動車 1,143 億 8,600 万円(同 2.1%増)、産機 296 億 8,300 万円(同 28.1%減)、民生 482 億 5,400 万円(同 4.1%減)、通信 110 億 5,900 万円(同 8.5%増)、コンピュータ&ストレージ 286 億 3,800 万円(同 12.3%増)となり、売上高全体に占める自動車向けの比率は 49.3%(前年同期は 46.8%)に上昇した。

LSI セグメントにおいて、自動車市場向けで電動車向けの製品が調整局面となったが、ADAS 向けやボディ向けの高付加価値商品が伸び、民生市場向けでは省エネ性能エアコン向けモータドライバが好調に推移。コンピュータ&ストレージ市場ではサーバー市場を中心に SSD 及び PC 向けのモータドライバ IC や電源 IC などの売上が回復傾向となったが、産機及び通信市場向けは厳しい状況となった。半導体素子セグメントでは、パワーデバイスが自動車市場の SiC デバイスを中心に堅調に推移したものの、産機市場向けがエネルギー市場の鈍化や設備投資抑制の影響で厳しい状況に。汎用デバイスでは産機市場の FA 向けが大きく落ち込んだ。モジュールセグメントでは、オプティカル・モジュールについてはスマートフォン向けでセンサモジュールの売上が増加し、プリントヘッドでは決済端末向けの売上が伸びたものの事務機向けが落ち込んだ。



キャッシュ・フロー（以下、CF）の状況では、当期末現在の現金及び現金同等物残高は 2,986 億 5,300 万円（前年同期末比 8.1%増）となった。営業活動 CF は 540 億 9,800 万円の収入（前年同期比 26.1%増）となり、税金等調整前中間純利益の減少、減価償却費の増加や、棚卸資産が増加から減少に転じたこと、法人税等の支払額が還付額に転じたことなどによる。投資活動 CF は 664 億 4,800 万円の支出（同 81.1%減）となり、定期預金が減少から増加に転じたことや、有価証券及び投資有価証券の取得による支出の大幅な減少、有形固定資産の取得による支出の増加などによる。財務活動 CF は 894 億 1,500 万円の収入（同 67.5%減）となり、社債の発行や長期借入れによる収入の増加、短期借入金が増加から減少に転じたことなどによる。

25 年 3 月期の通期業績見通し…今期の通期業績については、売上高 4,500 億円（前期比 3.8%減）、営業損失 150 億円（前期は 433 億 2,700 万円の黒字）、経常損失 100 億円（同 692 億円の黒字）、親会社株主に帰属する当期純損失 60 億円（同 539 億 6,500 万円の黒字）の見通しで、24 年 5 月 8 日時点での会社側発表値（売上高 4,800 億円、営業利益 140 億円、経常利益 180 億円、親会社株主に帰属する当期純利益 140 億円）から減額修正されている。

セグメント別予想において、売上高は、LSI2,030 億 100 万円（前期比 2.0%減。修正前 2,123 億 3,500 万円）、半導体素子 1,904 億 1,000 万円（同 5.7%減。修正前 2,134 億 1,300 万円）、モジュール 322 億 7,800 万円（同 1.9%減。修正前 300 億 2,200 万円）など。また、市場別売上高（同社推定）は、自動車 2,282 億 5,700 万円（同 0.5%減。修正前 2,541 億 9,600 万円）、産機 602 億 2,600 万円（同 19.4%減。修正前 656 億 6,800 万円）、民生 890 億 1,300 万円（同 3.9%減。修正前 914 億 300 万円）、通信 202 億 7,500 万円（同 0.9%減。修正前 175 億 7,200 万円）、コンピュータ&ストレージ 522 億 2,700 万円（同 3.3%増。修正前 511 億 5,900 万円）となっており、自動車向けの売上構成比率は 50.7%（前期は 49.0%）に高まる見込み。

本レポートは、会社側が発表した決算短信や決算説明資料などに基づき作成しており、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。